

一般社団法人郡山市観光協会 DMO推進委員会

令和4年度 活動報告

【郡山版 DMO の推進】

■ DMO更新 (2023. 1 月)

一般社団法人郡山市観光協会では、地域の「稼ぐ力」を引き出し、観光地域づくりを中核的に推進することが期待されるDMO（観光地域づくり法人）に、令和2（2020）年1月、法人登録となったのち、3年ごとの更新制度が創設されたことから、令和5（2023）年1月に申請を行い、更新登録となりました。

更新に伴い、従来の「日本版DMO」の名称から、「登録DMO（登録観光地域づくり法人）」の名称を使用することとなりました。今後も地域の合意形成に主導的な役割を果たし、観光資源の磨き上げや受け入れ環境整備などの着地整備を推進して参ります。

■ マーケティング事業 (2022. 11 月～)

郡山市内宿泊施設等との連携、JR 郡山駅にご協力いただき、本市来訪者を対象とした「郡山市観光動向消費調査」を実施しました。

ご利用の交通機関について、同行者の形態、旅行の目的など、旅行行動のほか、消費性向や観光満足度等のアンケート調査を実施しました。調査結果は、当協会ウェブサイトで公開予定です。

●郡山市についてお伺いします

Q.12 郡山市内の以下の施設内消費動向についてお答えください。（それぞれ1つずつ回答してください）

施設名	消費額	来店	予約	予約	予約	予約	予約
1) 飲食店・宿泊施設	7	6	5	4	3	2	1
2) 娯楽施設	7	6	5	4	3	2	1
3) 百貨店・衣料店	7	6	5	4	3	2	1
4) 書店	7	6	5	4	3	2	1
5) 文具店	7	6	5	4	3	2	1
6) 美容室・理髪店	7	6	5	4	3	2	1
7) 百貨店・雑貨店	7	6	5	4	3	2	1
8) 専門店・小売店	7	6	5	4	3	2	1
9) 専門店・小売店	7	6	5	4	3	2	1
10) 専門店・小売店	7	6	5	4	3	2	1

Q.13 郡山市内の観光資源についてお答えください。（1つずつ回答してください）

観光資源	消費額	来店	予約	予約	予約		
観光資源	7	6	5	4	3	2	1

Q.14 郡山市への観光資源の魅力を教えてください。（1つずつ回答してください）

魅力	消費額	来店	予約	予約	予約		
魅力	7	6	5	4	3	2	1

Q.15 郡山市の観光資源についてお答えください。（1つずつ回答してください）

この度は郡山市にお越しいただき、誠にありがとうございました。

郡山市観光動向消費調査

アンケートに答えて / 必ずもらえる! プレゼント

アンケートに答えて / 必ずもらえる! プレゼント

郡山市観光動向消費調査

アンケートに答えて / 必ずもらえる! プレゼント

郡山市観光動向消費調査

アンケートに答えて / 必ずもらえる! プレゼント

【国・県等の事業活用】

■ 高付加価値化事業 (2022. 4 月～)

観光庁「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」の採択を受け、DMO として観光地再生に向けた地域計画を策定し、磐梯熱海温泉地区の旅館・ホテルなどが収益力の向上を目的とした大規模改修を実施しました。

最終的に 9 施設で改修が行われ、総事業費 約2億7,000 万円に対し、観光庁から約 1 億 5,600 万円の補助金を受け、誘客の促進や来訪者満足向上に繋がる取り組みを行いました。

①伊東園ホテル磐梯向滝 宿泊施設の高付加価値化

②守田屋 宿泊施設の高付加価値化

③離れの宿 よもぎ笠 宿泊施設の高付加価値化

④オーベルジュ 鐘鐘 宿泊施設の高付加価値化

⑤温泉ゲストハウス湯kori 宿泊施設の高付加価値化

⑥幻灯籠 月の庭 宿泊施設の高付加価値化

⑦山城屋旅館 宿泊施設の高付加価値化

⑧深山荘 宿泊施設の高付加価値化

⑨ギャラリーカフェ 壱 観光施設改修

⑩四季彩 一カ 宿泊施設の高付加価値化

■コンテンツブラッシュアップ事業（2022.6月～）

（公財）福島県観光物産交流協会「観光コンテンツブラッシュアップ支援事業」の採択を受け、主に湖南町で暮らし、働き、様々な分野に携わる若者が中心となって進める「はじまりの葡萄プロジェクト」のブラッシュアップを図りました。

モニターツアーのほか、湖南産葡萄を使ったワインと食材を使った料理やプロジェクトの紹介などをキックオフセレモニーとして実施しました。



■観光地域診断（2022.8月～）

（公社）日本観光振興協会「Destination-NEXT を活用した観光地域診断」の採択を受け、地域の幅広いステークホルダーとの合意形成を図る「観光地域診断」を実施しました。

「会議・講演会・展示会施設」のほか、「健康と安全」の項目が高く評価されており、「地域外からのアクセス」が観光地域としての強みとなっています。

高い評価の変数

変数	スコア
1. <u>会議・講演会・展示会施設</u>	3.42
2. <u>健康と安全</u>	3.27
3. 宿泊	3.18
4. スポーツ・イベント	3.11
5. インターネット等の通信環境	3.03

■インバウンド講座（2022.9月）

観光庁「観光に配慮した持続可能な周遊観光促進事業」の採択を受け、宿泊施設や案内ボランティア、観光案内所などを対象としたインバウンド講座を実施しました。

全国通訳案内士を講師に迎え、外国人旅行者をお迎えする心構えと異文化への配慮のほか、翻訳アプリの使い方や SNS による地域の魅力の発信方法などを学びました。



■ワーケーション（2022.9月～）

（公財）福島県観光物産交流協会「ワーケーションを活用した観光支援事業」の採択を受け、ワーケーションの受け入れ環境の整備を行いました。

逢瀬地区をメインフィールドに、なんだべ村やふくしま逢瀬ワイナリーの視察、アクティビティ、キーマンとの交流などを行う2泊3日のプランを“SDGs 体験型企業研修”とし、モニターツアーを2回実施しました。



■教育・修学旅行（2022.9月～）

福島県「地域創生総合支援事業（サポート事業）」の採択を受け、SDGs視点で学べる本市内のプログラムを紹介する「郡山市教育旅行パンフレット」を作成しました。

小学生から高校生までを対象としたSDGs視点で体験・見学できるプログラムを紹介するもので、専用ウェブサイトも制作を進めており、積極的に情報発信を行って参ります。



■合宿の里（2022.10～12月）

（公財）福島県観光物産交流協会「合宿の里ふくしま復興事業」の採択を受け、令和3年度にスポーツ施設や文化施設、宿泊施設など紹介するパンフレット及びウェブサイトを整備しました。

今年度は、誘致活動として、都内及び北関東エリアのエージェントを訪問・PRしたほか、デジタルプロモーションとして、ウェブ広告やウェブサイトのユーザー分析等を実施しました。



【その他】

■物産振興協会との統合・酒販免許（2022.10月～）

郡山は日本酒、焼酎、ウイスキー、ワインと4種の酒蔵・醸造所がある全国的にも稀な都市であり、また、今年度末の郡山市観光物産振興協会の解散に伴い物販業務が移管されることから、一般酒類小売業免許を取得し、また、条件緩和として通信販売も可能となりました。今後、首都圏や姉妹都市で開催される物産展・フェアに出展し、市内物産品をPRして参ります。



■こおりやま観光案内所（2023.3月～）

郡山市と共同運営する「こおりやま観光案内所」（郡山駅2階）を「東北のヒト・モノ・コトを紡ぐワクワクする観光拠点」として、リニューアルオープンしました。

「企画展示エリア」では、伝統工芸品など土地に長く続く個性や、その土地らしさが伝わるこだわりのアイテムを展示し、生産者や文化に会いに行く「新しい旅のスタイル」を提案し、更なる誘客に努めて参ります。

